

- 古(環境戦略解析機構)水山光春(京都教育大学)
- c. 「持続可能性に向けての環境教育—その2—」
(持続可能性に向けての教育(EfS)研究会)
今村光章(代表者・仁愛大学)石川聡子(大阪教育大学)井上有一(京都精華大学)塩川哲雄(大阪府立北千里高等学校)原田智代(京都精華大学)
- d. 「『自分を見つめる』グループワーク実習」
木内 功(大阪府立総合青少年野外活動センター)
山本正高(甲南大学)
- e. 展示「4Rのリサイクル活動と循環型コミュニティの創造」
甲南大学谷口文章研究室

一般研究発表

< A会場 > 環境汚染(大気、水)

- 片岡法子(あおぞら財団)松井克行(大阪府立西淀川高等学校)松村暢彦(大阪大学大学院)「西淀川公害に関する学習プログラム作成研究会の活動報告」
松村暢彦(大阪大学大学院)「市販ブロックを用いた大気汚染源の理解のための教材開発について」
松井克行(大阪府立西淀川高等学校)「『大気汚染ブロック教材』を用いた環境教育実践～高校地歴公民科における活用例～」
深野哲也(大阪府立三国丘高等学校)「植物等によるNOX吸収率簡易測定法の開発」
山田弘司(大阪市教育振興公社)「水を測る～簡易水質調査測定器具を使って環境教育を考える～」
山田弘司(大阪市教育振興公社)「BOD(Biochemical Oxygen Demand)とCOD(Chemical Oxygen Demand)の有機物汚染の表示について考える」

< B会場 > 環境教育教材

- 角倉理恵子・重藤英一(門真市立第二中学校)「ペットボトルからジュゴンまで～中学校選択(高分子化学)と学校図書館活動(自然保護学習)の連携～」
中村和幸(大阪府立城山高等学校)「バタフライガーデンに用いられる植物の調査」
田先崇志(兵庫県立香寺高等学校)「身近にある環境教材を様々な活かす」
○山路伸子(大阪市立梅香小学校)○田中敬子(宝塚市立すみれが丘小学校)「環境教育に不可欠な数理的感覚を磨こう～身の回りは数的環境でいっぱい～」
山本勝博(大阪府教育センター)「環境教育における教材化についての考察」
宮下繁(京都府立東舞鶴高等学校)「『誰でもできるリサイクル』～開放講座の報告～」

< C会場 > フィールド・地域・パートナーシップ

- 秦誠(第9回全国雑木林会議神戸大会 事務局長)
「第9回全国雑木林会議神戸大会に関する報告～日本環境教育学会関西支部後援事業報告～」

友野哲彦(神戸商科大学経済学科)「大学生による地域環境データブックの作成と公表～高知県を事例に～」

平田富士男(姫路工業大学・淡路景観園芸学校)「まちづくりボランティア育成を目的としたアメリカの州立大学のコーポラティブイクステンションの活動～マスターガーデナーの育成を事例に～」

藤岡達也(大阪府教育センター)「大阪府における環境教育推進のためのパートナーシップ」

本庄真(香芝市立真美ヶ丘東小学校)「水と人々のくらし～真美ヶ丘東小学校4年(2組)の実践報告～」
青木明弘(滋賀大学大学院教育学研究科)「山村をフィールドとした環境学習プログラムの開発～文化体験に焦点を当てて～」

< D会場 > 政策・価値・理論

- 天野雅夫(神戸商科大学)「環境政策の研究～イギリスの気候変動プログラム(CCP)を中心に～」
野田文子(大阪教育大学)「大学生の自然経験と環境共生能力の形成について」
石川聡子(大阪教育大学)塩川哲雄(大阪府立北千里高等学校)「価値観を問いなおすための環境教育の理論化～批判的教育学の視座から～」
塩川哲雄(大阪府立北千里高等学校)石川聡子(大阪教育大学)「地域の問題とかわる環境教育の取り組み～批判的教育学の視座から～」
福島古(環境戦略解析機構)「環境教育学のフレームワーク」

◇福岡県支部の活動

(2001年8月～12月)

福岡県環境教育学会第6回例会

2001年11月18日(日)

福岡教育大学 教育実践総合センター

「食と農をめぐる環境教育～いのちを支える食と農～」
講演「いのち危うし、もう待ったなし」竹熊宣孝(熊本菊池養生園名誉園長)

講演「今、なぜ有機なのか」片野学(九州東海大学農学部教授)

昼食 有機栽培食品弁当で交流会

シンポジウム 「いのちを支える食と農」

コーディネーター 片野学

パネリスト 生産者 川上農園代表 川上直幸

消費者 グリーンコープ連合 坂本敬子

消費者 福岡教育大学 秋永優子